

かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 1 Number 1

1 号

平成5年 6月 5日

はじめに

当院が開業して、ようやく3カ月がたちました。少しづつ患者さんの数も増え、少しは、地域医療に貢献を始めたかと考えています。開業に当っては、お母さん達にも話しているように、「母親の心配、不安を如何に取り除いてあげる」ということが、子供達の病気を治療すること、同じくらい大切だと思っています。そのためには、病院側とお母さん達とのコミュニケーションを確立していくことが大切です。その方法として、今月から『こどもクリニックニュース』を定期的に発行し、コミュニケーションに役立てていきたいと思っています。

開業の思想

親しみやすさ

こどもにとって、病院は好ましい存在ではありません。むりやり裸にされ、喉を見られ、注射や点滴をされる、嫌なところ。一度拒絶反応を示すと、病院へいくというだけで、駄々をこね、揚げ句の果てには寝ころんだまま動かなくなってしまい、大変なことです。こどもが安心して、明るい雰囲気になりました。待ち時間を過ごすために、待合室に大型テレビを設置し、おとなしく待てるようにしました。また、カーペット部分には、床暖房がしてあります。

お母さん達の心配、不安の解消

小生は、長い間、未熟児・新生児を専門にしてきました。その医療を通じて学んだことは、母親の不安・心配を軽くしてあげることです。未熟児を産んだお母さんには、先進的な治療以上に、悩み苦しんでいる母親に手をさしのべることが大切です。来院するこどもの半分は、お母さんの心配だけで連れてこられています。そんな心配や不安を、よく聞いてあげるよう心掛けていくつもりです。

お母さん方の最も大きい不安は、初めてのこどもの時です。くしゃみ、吐く、湿疹、ミルクをのまない等々です。この乳児期の心配を少しでも解消するために、栄養士による、栄養育児指導の時間を設けています。乳児をお持ちのお母さん達に、人目を気にせず、安心しておむつ交換や授乳ができるようにするため、授乳室も別室として設けてあります。これもお母さん達に対するサービスのつもりです。ほかには冬寒いとき手を洗う時に、手が暖かいよう授乳室・トイレには給湯を行っています。

このようなことを通してお母さん達にも、安心して、入りやすい病院を目指しています。お母さんの精神の安定のもとで、よいこどもが育つのです。

診療時間の案内

月、火、水、金、土曜日
8:30~12:00 14:00~18:00

木曜日
8:30~12:00 午後休診
土曜日全日診療、ご利用ください

サービス(言葉としては余りよい表現ではありませんが)についても一つ。当院は木曜日が午後休診ですが、土曜日を全日診療としています。公的病院が週休二日制となり、土曜日を休みとしています。また働くお母さんが増え、土曜日の来院が都合よい場合が多いようです。(父親週休二日制で足もありますし!)健診・予防接種の曜日が決めてありますが、やむを得ない場合には、土曜日でも可能です。

夜間及び休日にも可能な限り、急患は診るつもりです。翌日の診療への影響も考えて、9~10時ごろまでとしています。が、会議等に対応できないときは、石名坂の急病診療所(266-6561)等をご利用ください。

院内交差感染の防止

病院には、様々な病気のこどもが来ます。病気の治療で来院しても、ほかの病気が、うつることは決して好ましいことではありません。お母さんによっては、車の中で順番を待つこともあります。小児科医にとっても、院内で流行性の病気に感染することは、好ましくはありません。

診察室とは別に隔離室を設け、院内感染を防ぐ努力をしています。隔離室を準備している医院はありますが、当院ではより完全をきすため、トイレも隔離室に設置してあります。トイレに行くのに、待合室を通れば感染防止の意味がなくなります。また検診と予防接種を診療時間と区別していますが、これも同様の目的のためです。検診と予防接種は、健康なこどもが受けるものです。検診や予防接種に来たのに病気がうつってしまうことは避けなければなりません。

スタッフ紹介

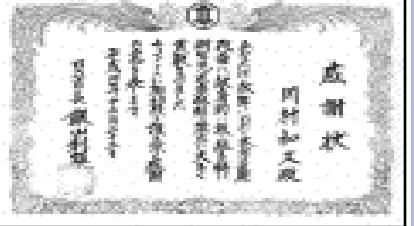
院長 **川村 和久** 男
家族 妻、長女(14才)、長男(9才)
昭和26年10月2日生まれ、41歳
昭和53年 国立仙台病院小児科
昭和56年 国立小児病院新生児科
昭和58年 仙台赤十字病院周産期センター
昭和60年 東北大学医学部小児科

昭和61年 日立総合病院新生児集中治療室主任医長
看護婦 **高橋 恵** 女 独身 彼氏?
昭和??年 8月14日
平成元年 看護婦国家試験合格
受付 **加藤 明美** 女 独身
昭和48年 6月 1日
平成 5年 仙台ビジネス専門学校卒

スタッフから一言

”長い間新生児を専門にしてきました。小児の正常の発達には、母親の精神的安定が必要です。お母さんが安心できる開業医を目指しています。新生児医療は、小児科の全ての基本です。呼吸器疾患(新生児では呼吸器疾患が最も多い)、アレルギー(皆さんも御存知のようにアレルギーは赤ちゃんのときから見られます)、特に発達、育児についてはおまかせを!新生児の雑誌、教科書の執筆もし、日立から帰仙するとき市長より感謝状を頂きました。(自慢話で、申し訳ありません)今後とも、優しく(時には恐い)、お母さんが安心できる医院を目指していくつもりです。よろしく!!” 感謝状です

”この前、めでたく二十歳になりました。(びっくりですか?!)初めてのお仕事で、いろ²わからないことづくしですけど、この病院とともに大きく成長していきますので、よろしくおねがいします。” あけみ



”オープンな性格なので気軽に、ご相談ください。なんでもOKです。” めぐみ

医学マメ知識 発熱について

その1
お母さん方の心配の一つにいつも挙げられるのが発熱です。今回は発熱について考えてみましょう。

一体発熱とは、何度以上をいうのでしょうか?
一般的には37.5 以上を発熱と定義します。体温(平熱)は、乳児期には高く、次第に低下していきます。37.5 までは、普通と考えてください。

なぜ熱がでるのでしょうか?
病気では、ウイルス、細菌の熱を出す物質で熱が出ます。発熱は、感染症から体を守る生体の防御反応と考えられています。

重い病気で高い熱がでるのでしょうか?
病気の重さと熱の高さは比例しません。カゼで40 の時もあるれば、がんや結核で微熱という時もあります。また熱が高いと脳障害が起こるということも関係ありません。かぜで40 くらい出ても、普通は心配はありません。脳の病気が原因であれば、脳障害の可能性は出てきますが、外来でちゃんと診察を受けていればわかることです。

解熱剤は、どんな薬ですか?
解熱剤は病気には、なんの影響も与えず、ただ熱を下げるだけの薬です。また小児の場合、歴史的に見ても副作用が問題となり、大人ほど使える薬剤が多くありません。解熱剤の使用は、必要最低限としたいものです。

解熱剤はどのように使ったら いいのでしょうか?

熱の高さ(=体温計の数字)だけでは、なるべく使わないようにしたいものです。熱がこどもに悪影響を与えている場合(元気がない、グズって寝つけない、食欲がない等)に、症状をとるため使います。一般的には38.5 以上で、症状があるときに投与します。こどもは大人と比べて熱に強く、38 以上でも遊んだり、テレビを見たりしてい



ることを経験しているはず。お母さんが手をかけられ、十分な観察が出来れば、解熱剤の必要はありません。むしろ夜間は、こどもを安眠させるため(十分な睡眠は病気の改善に役立ちます)、疲れているお母さんが休めるため(お母さんが疲れ倒れば大変です)という使い方が必要なときがあります。

熱性痙攣の既往のある場合には、この限りではありません。解熱剤を早めに使うことも、やむをえないことでしょう。しかし、起こったことのない痙攣に対して不安を持つ必要はありません。

突然高い熱が出たらどうしたらいいのでしょうか?
この記事に書いてあったことを思い出して、あわてないことです。よく症状を観察して、熱だけであれば、解熱剤を投与し様子を見ます。解熱剤は常備薬として、家に置いておきましょう。熱の割に、元気がない、顔色が悪い等の症状の時には、受診してください。

最後に、発熱は生体に防御反応であることを、思い出して解熱剤を使いすぎないようにしましょう。

6月のお知らせ

栄養育児相談	日本脳炎予防接種
16日、30日(水)	8日、22日(火)
13:30~	14:00~
参加無料、栄養士担当	3~4才児
詳しくは掲示板を参照してください	

編集後記

初めての新聞で、読み難さもあったかも知れませんが、定期的に発行することを第一とし、少しづつ本物の新聞に、近付けて行きたいと思っています。お読みになった感想、知りたいテーマ等ありましたら、受付までお願いします。

K's clinic